

～軽井沢町の“今”を伝える情報誌～

# ボランティア情報

2015年  
8・9月号

発行 軽井沢町ボランティアセンター  
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里  
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

## 傾聴活動スキルアップ講座ご案内

7月から始まった「まちづくりリーダー養成塾」の3回目講座は無料一般公開です。

「傾聴」とは、相手の話に耳を傾けること。しかし、単純に「聞く」だけでなく、相手の心にそっと寄り添いながら、共感的に「聴く」ことが、人間関係を良好に維持していくために求められているのだそうです。

良く、私は「話し下手」「話すことが苦手」と、聞くことがあります。しかし、「聴き下手」「聴くことが苦手」という話をあまり耳にしませんよね。人は元来相手の話を聴き入れることが、自然にできているようですが、それが聞き流しなのか、聴き入れているのかには大きな差があるように思いませんか？

今回の講座は、毎日の暮らしの中で役立つスキルと実際に施設やご自宅で介護をされている方々にも必見の講座です。



### 講師紹介

平成11年、高齢者とその家族のための心のケアを行う福祉団体「NPO法人ホールファミリーケア協会」を設立。日本で初めて、アメリカより「シニア・ピア・カウンセリング」を導入。その理念を活動の原点としながら、高齢社会における新たな相互扶助活動である「(高齢者のための)傾聴ボランティア」活動の全国普及を目指して運動を展開中。同時に、人との関わり方の基本である「傾聴的に関わる・聴く」活動の普及を目指し、運動を展開中。◎これまでの活動を認められ、平成25年度内閣府「エイジレス・ライフ」実践者表彰

期 日：平成27年9月8日（火）午前10時～午後3時まで

会 場：軽井沢町中央公民館 大講堂

費 用：無料！

定 員：20名

締 切：9月4日（金）

申し込み・お問い合わせ：軽井沢町ボランティアセンター（Tel45-8113）まで

## まちづくりリーダー養成講座開催中です！

私たちの目指す町づくり。それは人と人がつながり支え合う地域社会づくりの推進にあります。関係機関の主要施策にもコミュニティの再生や充実から、町づくりの担い手を確保するという動きも活発化しています。

そこで、軽井沢町も一層の地域福祉推進と地域づくりの担い手となる潜在的活動者を掘り起し、新たな地域課題や豊かな社会生活を送るための一助とし、自らの発想や発見で自分たちの住む町をより輝かせることのできる人財を育成するために標記養成塾を開催しています。

第1回目 7月30日(木) シニア力開発講座 講師 フリージャーナリスト 内山二郎さん



人生90年時代、充実した学生を送るには？



真剣に聞き入る参加者の皆さん



身近な課題に対する自発的な行動の数々が！

第2回 平成27年8月25日(火) 13:30~15:30

昔遊び体験から見えること 講師 軽井沢お手玉の会

第3回 平成27年9月8日(火) 10:00~15:00 ※一般公開講座

傾聴ボランティアスキルアップ講座

講師 NPO法人ホールファミリーケア協会 理事長 鈴木絹英さん

第4回 平成27年10月23日(金) 13:30~15:30

ボランティア・地域活動白熱教室

講師 花とみどりの仲間たち 代表 山岸征男さん

第5回 平成27年11月27日(金) 13:30~15:30 ※一般公開講座

「やねだん」から学ぼう！ボランティア・地域活動は感動の連鎖反応だ！

講師 ヘルプアイ本舗 代表者 豊重哲郎さん

第6回 平成27年12月18日(金) 13:30~15:30

(閉講式) シニア力向上講座 講師 長野県長寿社会開発センター 理事長 内山二郎さん

【定員】 全講座受講が条件、定員20名 ※一般公開講座は別にお申込みください。

【会場】 軽井沢町中央公民館

### …民間助成事業に選定されました!!…

軽井沢お手玉の会が、公益財団法人キリン福祉財団より、「キリン・子育て応援事業」にお手玉の会の昔遊びが選定されました。

この応援事業は、地域における子育てに関わるボランティア活動を支援するもので、木もれ陽の里でその助成贈呈式が行われました。



珍しいお手玉に財団の方々もびっくり！



現在も西部小学校等で手芸・お手玉教室を開催中です！(左から2番目が代表の北村さん)

…誰でも安心して活動するために…

### 《ボランティア活動保険に加入しましょう！》

\*補償期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

\*掛金（補償金額により異なります）

Aタイプ 300円/Bタイプ 450円

\*手続き方法

#### ・ボランティア団体

⇒『ボランティア活動保険加入申込書』（専用用紙）  
『保険加入者名簿』（団体独自のものです）

以上2点の書類に掛金を添えてボランティアセンターまでお持ち下さい（ボランティア団体の場合は加入数15名分までを社協で負担します）。

#### ・個人ボランティア

⇒ボランティア登録票を提出で、加入となります。  
手続き及び掛金負担は社協で行います。

### 【イベント案内】

●障がい者支援施設 浅間学園 第26回ごんた祭り  
9月6日（日）午前10時～ 同施設で開催  
ステージ発表・模擬店多数・スタンプラリーで景品ゲット

●シニアの出番発表！佐久広場  
9月16日（水）午後1時30分～ 佐久合同庁舎で開催  
佐久管内で活動する各種団体の活動PRや情報交換会 他

●第11回ふれあい祭り  
9月27日（日）午前10時～ 軽井沢中央公民館他  
ステージ発表・ミニSL、乗馬体験・大ビンゴ大会 他

### 【ボランティア募集】

●託児ボランティア  
9月29日（火）午前9時～正午 風越総合体育館内  
イベント開催中の0歳児～3歳児の託児活動 募集5名

●障がい者アート講座  
10月7日（水）午後1時30分～ 木もれ陽の里  
パステル画に挑戦する障がい者の方々との交流 他

### ◆日本聴導犬協会チャリティバザーが開催されました！◆

長野県宮田村に本部を構える「日本聴導犬協会」は、8月7日・8日と軽井沢町スケートセンターで毎年恒例になった、チャリティバザーを開催しました。主催は日本聴導犬協会を支援する会。当日は、SLC手のひらの会の手話ソングや聴導犬デモンストレーションも催され、大勢の参加者の方から大きな拍手が送られていました。このバザーで得られた寄付を基に、軽井沢町内で聴導犬デモンストレーションが行われています。さて、今年はどうなるでしょう?!皆さんお楽しみに！



聴導犬も暑いかな？



手話ソングは全員で!!



バザーは大盛況!!

### ◆地域の縁側「野あざみ」 夏休み縁側体験 in あざみ亭◆

8月5日（水）新軽井沢地区にあるcafé あざみ亭で、夏休み特別版の縁側体験が開催されました。当日は、8名の東部小学校児童が参加してくれ、大いに盛り上げてくれました。午前中の前半は買い出しとカレー作り、昼食には予想を上回る「お客さま」が来店してくれ、30名近くのご近所さんが顔を出してくれました。

「縁側」は、温かな陽だまりに自然と人が集う場所を指します。軽井沢町に地域の縁側が誕生して半年。これからも、多くの取り組みと情報を発信してもらえようボランティアセンターもサポートして行きます。



みんなでカレー作りに挑戦!



買い出しにも行ったよ!



近所のおばちゃんとお話



来年もまた会いましょう!



## 《知ってる!? 意外と知らない “あれ・それ”》

～まちの縁側って?～

「和食」が平成25年にユネスコの無形文化遺産に、岐阜県白川郷・五箇山の合掌造り集落も世界遺産に登録され20周年になるそうです。私たち日本人は、伝統的な日本文化や日本家屋に親しみを持ち、そこに人々が自然と集まるような習わしを大切にしてきました。

さて、今回は「縁側」です。私の実家にも縁側がありますし、もう亡くなった祖母の住んでいた町営住宅にも狭いながらもありました。そこには不思議と人が集まり、お茶を飲み世間話を始める…。場所が人を呼ぶのか、人が人を呼ぶのか、よく理解できなかつたのですが、ここ最近では、人が人を呼ぶ、場所はその人の集まる大切な「拠点」だということに改めて気付きました。

縁側は町中で一番小さな「人の集まるコミュニティ」かもしれません。そこに行くといつもよもやま話に花が咲き、気が付くと顔なじみが寄り集まって世間話。最近見かけました?もしくは自分の家がそうだ!というかたもいらっしゃるでしょうね。

社会福祉協議会やボランティアセンターの役割は、そんな縁側を町中に作り上げて行くことといっても間違いではありません。しかも、その縁側を関係する方々と話し合いながら立ち上げて行くなんて、素敵なお話じゃありませんか。

少子高齢化や近隣と無縁状態で暮らす人々、子どもの貧困からワーキングプア・サイレントプアまで、地域には私たちが知らないだけで、多くの福祉課題が眠っています。我々にしてみると「福祉課題」ですが、ご近所さんしてみると「困った」さんなのではないでしょうか?中には目に見えない「困った」さんも多くなっていませんか?

暮らしに必要な「縁」を「側(そば)」に作り上げて行くことが社協やボランティアセンターの願いでもあります。新軽井沢に出来た縁側「野あざみ」の活動に今後も注目です!

## 《シリーズ》ボランティアってこんなこと!?



さて、今回もボランティアとは

恋愛のようなものと話す早瀬さんの言葉をお借りします。

- 「機能」以上に「存在」に意味がある関わりである

…やっぱりこの活動は人との関係・接点が大切…

(妄想) ロボットが介護をする時代になりました。いずれそんな時代がくるんだろうなと思っていたら割と早くそんな話題を耳にしました。

介護をしてくれるロボットは懇切丁寧に人間以上に仕事をこなし、「疲れた…、給料を上げろ!」とも言わないそうです。これは良いと、介護ロボットは大量に出回り、終末期まで一緒に。自分の最後を看取るロボット。最後に自分が「今までありがとう」とロボットに話したら、「ご主人様次は何をいたしましょう?」とまだロボットは命令を待つのでした。

ロボットが悪いと言っているのではありません(汗)。機能は重要ですが、それ以上に関わりの中から生まれる「存在感」があって初めて双方が幸せになれるんです。

最後までお読みくださりありがとうございました。次回は10月に発行予定です。